

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査

(1) 取組名	活力ある二俣再生事業		
(2) 実施団体名	二俣みがきの会	(3) 対象地域	浜松市天竜区二俣地域
(4) 代表団体名	(財)浜松まちづくり公社	(5) 推薦団体名	浜松市

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	保存すべき建築物の調査		
	実施主体	二俣みがきの会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		実施内容: 地区内に残る歴史的建築物の調査及び評価、補修方法や耐震補強の研究 実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 取組の目的: 歴史的に価値ある建築物の保存のための基礎的資料とするとともに、保存・活用に対する所有者への理解を得る。	実施内容: 地区内に残る歴史的建築物の調査及び評価の実施、耐震補強に関する講習会の実施 実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 取組の結果: 歴史的建築物のリストアップ(78棟)、評価(A, B, Cランク)。A, Bランクで所有者の同意が得られた建築物は実測調査を実施。 ・建物の公開に前向きな所有者も出てくるなど、今後の保全と活用に向けた基礎ができてつづる。	
	<b>取組②</b>	北遠アンテナショップづくり		
	実施主体	二俣みがきの会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		実施内容: 新たな特産品開発と北遠アンテナショップの開業実験 実施時期: 平成20年9月～12月(実験期間は11月の2週間) 実施場所: クローバー通り商店街空き店舗 取組の目的: 商店街の活性化に向けて、実験的な店舗の開業による効果の把握を行うとともに、特産品開発を目指して人が集まる商店街づくりに寄与する。	実施内容: 北遠アンテナショップの開業実験、新たな特産品の公募 実施時期: 平成20年9月～1月(実験は11～12月の土日祝の15日間) 実施場所: クローバー通り商店街空き店舗 取組の結果: 北遠の物産・木工品・手づくり品を集めて委託販売形式で実施。売上約170万円。 ・特産品開発はアイデア募集として実施(応募24点)。今後の商品化には会が協力。	
	<b>取組③</b>	路地を活かした回遊ルートづくり		
	実施主体	二俣みがきの会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		実施内容: 路地を活かした回遊ルートの設定と歩行者空間デザインの実施、回遊ルートマップの作成 実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 取組の目的: 地域住民や来訪者が回遊できる散策ルートの整備に向けた検討を行う。	実施内容: 路地を活かした回遊ルートの設定と歩行者空間計画、回遊ルートマップの作成 実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 取組の結果: 回遊ルート散策ツアー(参加者17名)、人気投票を行った上でWSにより歩行者空間計画を作成し、それらを建築物マップと合わせた回遊ルートマップとしてまとめた。	
<b>取組④</b>	竹林整備と広葉樹木植栽調査			
実施主体	二俣みがきの会			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	実施内容: 二俣市街地周辺の植生調査と、竹林整備に向けた取り組み及び広葉樹木植栽計画の立案 実施時期: 平成20年9月～平成21年1月 実施場所: 城山周辺 取組の目的: 美しい景観形成のために、市街地の背景となる樹林地における竹林整備に向けた取り組みの実施と将来的な広葉樹木への転換を目指す。	実施内容: 城山周辺の植生調査、竹林整備実験、広葉樹木植栽計画の検討 実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 実施場所: 城山周辺 取組の結果: 植生を調査し、城山周辺の植栽調査と竹林所有者へのアンケート調査を実施(回収率50%)。約8割の方から竹林整備に対して前向きな回答をもらった。 ・竹林となっている市有地において整備実験を実施。		
<b>取組⑤</b>	二俣再生マネジメント			
実施主体	二俣みがきの会			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	実施内容: 総合調整会議の開催やHPの開設による全体調整と広報活動など 実施時期: 平成20年8月～平成21年2月 取組の目的: 全体の総合調整、活動のPRなどを行う。	実施内容: 全体会(2ヶ月に1回)、運営会議(月1回)の開催、HPの開設、瓦版の発行(計4回) 実施時期: 平成20年8月～平成21年2月 取組の結果: 概ね計画通り実施。 ・HPや瓦版の発行、アンテナショップの開業などにより、地域での認知度は着実に高まった。		

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点		
	取組①:企画から実施まで天竜まちづくりの会及び建築士の個人会員が実施 取組②:二俣おかみさんの会、クローバー通り商店街が中心となり、地域まちづくり研究所が協力して実施 取組③:地域まちづくり研究所が企画・運営し、二俣川をきれいにする会など個人会員が協力して実施 取組④:浜松まちづくりセンターが企画・運営し、二俣川をきれいにする会など個人会員が協力して実施 取組⑤:主として個人会員、浜松まちづくりセンターが企画・運営	取組①:建築士の個人会員が役割分担して実施 取組②:個人会員が中心となり企画し、個人会員が協力して実施。全体を地域まちづくり研究所が支援 取組③:個人会員の協力のもとに地域まちづくり研究所が企画・運営 取組④:個人会員の協力のもとに浜松まちづくりセンターが企画・運営 取組⑤:個人会員が運営、地域まちづくり研究所及び浜松まちづくりセンターが支援 全体的に当初計画よりも個人会員が中心となって運営したため、一部では仕事を持っている個人への負担が大きすぎた面がある。 行政や関係団体との連携不足のため、特に建築物調査では所有者との協議が不調に終わったケースが多かった。			
(8)取組により得られた成果	○成果1→ 耐震補強工事に関する講習会参加者数(歴史的建築物所有者)				
	H19	H20(当初予定していた目標)			
	—	20名			
	H20(実際に得られた成果)				
	歴史的建築物所有者の参加者 3名				
	講師 建部恭宣先生(静岡県文化財保護審議会委員) 太田雅啓さん(静岡県建築士会・天竜支部) 大橋隆夫さん(静岡県建築士会・小笠支部)				
	歴史的建物所有者の参加は極めて少なかったが、全体では28名が参加し、二俣の街並み保全と活用について理解を高めた。				
	○成果2→ アンテナショップ周辺飲食店売上高(アンテナショップ実験期間中)				
	H19	H20(当初予定していた目標)			
	—	1.2倍			
	H20(実際に得られた成果)				
	アンテナショップ直近には飲食店がないため、周辺商店や来客者、地域住民に対してショップについての意見を聞き取り調査中。				
	○成果3→ クローバー通り・二俣川沿い歩行者交通量(アンテナショップ実験期間中)				
	H19	H20(当初予定していた目標)			
	—	現状の1.5倍			
H20(実際に得られた成果)					
実験開始前(10/11):クローバー通り 532人、二俣大橋 168人					
実験期間中(11/15):クローバー通り 667人(1.25倍)、二俣大橋 226人(1.35倍) ※いずれも9:00~17:00の8時間					
実験店舗周辺では、昼食時を中心として実験期間以外のときよりも人通りが増えた。周辺店舗からの出品もあり、商店街全体で盛り上げる雰囲気があった。					
○成果4→ 秋野不矩美術館入館者数(アンテナショップ実験期間中)					
H19	H20(当初予定していた目標)				
約150人/日	180人/日(現状の1.2倍)				
H20(実際に得られた成果)					
アンテナショップ実験期間中の秋野不矩美術館入館者数の増減 H19 4,603人→H20 3,064人(H20は実験期間中の15日間計、H19は同じ時期の15日間計)					
秋野不矩美術館の入館者数への影響は出てこなかった。ショップの買い物客は地元住民が中心であったことから、美術館入館者数増減には影響がなかったものと考えられる。					
○成果5→ 竹林所有者との整備に向けた協定書締結数					
H18	H20(当初予定していた目標)				
—	3件				
H20(実際に得られた成果)					
整備してほしい 7件 条件が合えば整備してほしい 1件 整備内容について話があえば整備してほしい 6件 ※いずれも竹林所有者に対するアンケート調査結果より					
協定書の締結には至っていないが、竹林所有者の多くが管理について悩んでおり、整備に対して所有者との合意が得られることが分かった。					

	○成果6→	二俣みがきの会会員数の増加
		元気再生事業実施当初
		43名・団体
		H20(当初予定していた目標)
		86名・団体
	H20(実際に得られた成果)	
	51名・団体	
	活動を通じた加入への働きかけが弱かった面があり、個人会員8名の増加にとどまった。ただし瓦版の定期発行やショップの開業により、会自体の認知度は高まっている。	
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>取組①:居住している建物については実測に関する所有者の同意を得ることが難しく、また内部の公開まで了解を得た建物は数少なかった。建物調査全体の目標や最終的なねらい、公開する場合の目的や内容、頻度などを明確にし、それを実験的に行うことや、行政とも連携して所有者と協議することでより多くの了解を得られた可能性がある。</p> <p>取組②:概ね計画通り実施できたため、今後はその成果を生かして空き店舗の情報整理と内装補助メニューの制度化を関係団体に働きかけること、新規出店者希望者とのマッチングを進めるなど、より多くの店舗開業に向けた取り組みが望まれる。特産品の開発を継続し、商品化を援助し、魅力ある商品を多数創出できるよう協力していく必要がある。</p> <p>取組③:二俣川飛び石実験は管理者と協議した結果、管理者側で別途の計画があるため、実施しなかった。今後は建物調査との関連性を強化しつつ、より多くの人が楽しく歩けるルートづくりのためのアイデアづくりと、さらに広範囲の散策ルートの発見・整備に向け、関係機関との連携の中で取り組みを進めていく必要がある。</p> <p>取組④:アンケート結果では、竹林を放置している人が大半であり整備の必要性は高いが、広葉樹木への転換を図っていくためには継続的な取り組みが必要であり、そのための体制作りが求められる。</p> <p>取組⑤:より多くの地区住民の参加を得た活動としていくために、さらに広報活動を進めていくことが必要である。</p>	
(10)平成21年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
	<p>1. 保存すべき建築物調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が高い建築物の有形登録文化財への申請(H21～)</li> <li>・蔵の改修事業(H21～H23)</li> <li>・新規商業者やイベント時の開放の推進(H21～)</li> </ul> <p>2. 北遠アンテナショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本格実施に向けた店舗及び専属従業員の確保(H21)</li> <li>・空き店舗への新規商業者受け入れ(H21～23)</li> <li>・定期的な新規特産品コンクールの実施(H21～23)</li> </ul> <p>3. 回遊ルートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みデザインガイドラインの作成(H21)</li> <li>・サイン作成と敷地内への設置(H21・22)</li> <li>・路面舗装の実施(H21～23)</li> </ul> <p>4. 竹林整備と広葉樹木植栽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林整備の推進と広葉樹木植栽の実践(H21～H23)</li> </ul> <p>5. 二俣再生マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二俣みがきの会のNPO化(H21)</li> <li>・専用事務所の確保(H21)</li> </ul>	<p>1. 保存すべき建築物調査(H21～23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:二俣みがきの会の建築士を中心とする個人会員、所有者協議については会と浜松市が連携して実施</li> <li>・登録有形文化財申請についての認知度を深め、所有者協議</li> <li>・回遊ルートの立ち寄り処として複数の建築物について所有者と協議する。同時に公開したイベント、公開ツアーの実施</li> <li>・イベント、ツアー実施後に建築物所有者へのアンケートの実施及びH20年度にできなかった建物実測調査の継続</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額200万円)]</p> <p>2. 北遠アンテナショップ(H21～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:二俣みがきの会が浜松市天竜区、天竜商工会、商店街などと連携して実施</li> <li>・空き店舗の情報整理、新規出店者の募集とマッチングの実施</li> <li>・特産品コンクールの実施、商品化援助協力</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額100万円)]</p> <p>3. 回遊ルートづくり(H21・22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:二俣みがきの会と地域まちづくり研究所が中心となり浜松市と連携して実施</li> <li>・浜松市の景観条例に基づく景観まちづくり協議会として二俣みがきの会が申請することに地域の理解を求め、街並みデザインガイドラインを作成</li> <li>・建築物調査で実施する公開ツアーとあわせて回遊ルート発見ツアーの実施</li> <li>・サイン類のデザイン及び設置場所の検討</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p> <p>4. 竹林整備と広葉樹木植栽(H21～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:二俣みがきの会の個人会員が中心となり、浜松まちづくり公社が支援して実施</li> <li>・所有者との協定書の締結ができた区域から竹林整備の実施</li> <li>・伐採した竹の利活用の推進及び販売</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額100万円)]</p> <p>5. 二俣再生マネジメント(H21～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:二俣みがきの会の個人会員が中心となり、浜松まちづくり公社及び地域まちづくり研究所が支援して実施</li> <li>・HPの更新、瓦版の発行、二俣地区のまちづくりに関する相談受付</li> <li>・二俣地区を考える公開フォーラムの開催(H21)</li> <li>・専用事務所の確保(H21)</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額100万円)]</p>

# 活力ある二俣再生プロジェクト(静岡県浜松市二俣地域) —二俣みがきの会—

## ◆主な実施取組の内容◆

**取組①: 保存すべき建築物の調査**  
 実施主体: 二俣みがきの会  
 実施内容・結果: 歴史的建築物のリストアップ、評価、講習会の実施、建物マップの作成



**取組②: 北遠アンテナショップづくり**  
 実施主体: 二俣みがきの会  
 実施内容・結果: 北遠の物産などを集めたアンテナショップの開業実験、特産品アイデアコンテストの実施  
 売上170万円、歩行者交通量の増加(1.25~1.35倍)



**取組③: 路地を活かした回遊ルートづくり**  
 実施主体: 二俣みがきの会  
 実施内容・結果: 回遊ルート散策ツアー、人気投票の実施をした上で、WSIによる歩行者空間計画の作成、回遊ルートマップの作成



**取組④: 竹林整備と広葉樹木植栽計画**  
 実施主体: 二俣みがきの会  
 実施内容・結果: 城山の植生調査、竹林所有者へのアンケート調査(回収率50%)、竹林整備実験の実施



**取組⑤: 二俣再生マネジメント**  
 実施主体: 二俣みがきの会  
 実施内容・結果: 全体会、運営会議の開催、HP開設、瓦版の発行



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

平成20年度事業では、二俣地域の活性化を進めるための基礎的調査と可能性の検討、体制の確立・拡充を目指した。そうした成果を踏まえて、平成21年度では二俣地域に残る資源を有効に活用していくための方法を見出していくとともに、より重点的な調査や実験・実施を進めることにより、活力と魅力に富んだ二俣地域としての再生を図っていくとともに、それらの情報を広く発信していく。また、関係する諸団体との連携を図っていくとともに、多くの住民の参加を促し、地域全体での盛り上がりを目指す。

- 歴史的建築物の保存と活用に関する調査、協議、実験を総合的に進める。
- 多くの人に二俣地域の資源である歴史的建築物や路地を見てもらうことで、その魅力に対する認識を高める。
- 活動内容や二俣地区の魅力に関する情報を発信して、二俣地域への関心を高めていく。
- 継続的に様々な活動を展開することにより、より多くの地区住民の参画を募り、地域全体での取組を進める。